



第14号 H12 3/1  財団法人 広島市農林業振興センター 〒739-1751 広島市安佐北区深川八丁目30番12号
 Hiroshima City Agriculture and Forestry Promotion Center TEL:(082)845-4770 FAX:(082)842-2149
<http://www.hiroins-net.ne.jp/hiroagri/>

— 農業振興地域 —

進むほ場整備と農業集落排水整備

農業振興地域において営農改善および生活環境改善のためのほ場整備と農業集落排水整備が急ピッチで進められています。

ほ場整備は、これまで294ha実施し(平成10年度末現在)、効率的な農業が行われています。
 現在も引き続き安佐北区白木町見張地区、安佐町西部地区、安佐南区沼田町影浦地区、安芸区阿戸町川筋地区など9地区で、整備を進めています。



安佐北区安佐町西部地区のほ場整備工事現場



安佐北区白木町市川地区の農業集落排水処理場(手前の建物)

農業集落排水処理施設は、安佐北区白木町、安佐町内の6地区において、一部供用開始しています。

また、新規に安佐北区白木町須沢地区、安芸区阿戸町の2地区で処理施設の建設準備を進めています。

—ほ場整備—3地区が完了、3地区がスタート

生まれ変わった地域



安佐北区安佐町烏帽子地区

安佐北区安佐町烏帽子地区、白木町三田地区、安佐南区沼田町影浦地区の3地区ではほ場整備が完了し、新しい農業がスタートします。

広くなった田には全て水路と農道が接続され、農作業が大変容易になります。

これから生まれ変わる地域



安佐南区沼田町中吉山地区

安佐北区安佐町鈴張南地区、白木町松山地区、安佐南区沼田町中吉山地区の3地区で、新しい地域づくりのための話し合いが行われ、ほ場整備がスタートします。

棚田10枚程度が1枚の田に改良されます。

☎建設部基盤整備課(☎845-4348)

農業集落排水処理施設は、トイレの水洗化による生活環境の改善と、生活排水の浄化による河川の水質保全に役立っています！



処理場に流れてきた水

処理して放流する水

処理場



家庭の排水管から処理場へ



ゴミの除去



微生物で分解



河川へ放流

☎建設部環境整備課(☎845-4349)

こんな開発に 取り組んでいます！

開発係では、野菜や花きなど新たな栽培技術の研究やバイオ技術による有望品種の開発に取り組んでいます。

☎振興部園芸課開発係(☎842-4421)



ダリアの新品種

放射線を当てて新品種を作ります。



サツマイモの無病苗

増収を目的として、バイオテクで無病苗を育成します。



パセリの品種改良

夏でも縮みの良い広島独自のパセリを育種中です。

—野菜の減農薬化—ハモグリバエに効果抜群！



栽培風景

—紫外線カットフィルム—

ハモグリバエがきらうといわれる紫外線カットフィルムと一般の農ビを張った雨除けハウスでチンゲンサイを栽培したところ、虫の発生のがたに大きな差が出ました。

なお、紫外線カットフィルムは、アブラムシやスリップスにも忌避効果があるとされています。

☎振興部園芸課開発係(☎842-4421)

ハウス内の害虫発生調査(粘着シートで調査)



一般の農ビを張ったハウスでは害虫が多い



紫外線カットフィルムを張ったハウスでは害虫極めて少ない

春花盛り、サクラいっぱい 森林公園 シャクナゲいっぱい 花みどり公園
ご家族、グループでお越しください。お待ちしております。

広島市森林公園

サクラ・ツツジは森林公園で!

ー4月、5月が見頃ー

森林公園の4月、5月はお花見の季節です。園内には1,000本の桜や7,000本のツツジ類が開花の準備を始めています。園内にはこんちゅう館の他、バーベキュー施設の無料貸し出し(要予約)もあります。



満開のサクラとツツジ

「世界のチョウ」展開催!

4月1日(土)~6月30日(金) こんちゅう館

ー中南米やオセアニアなど世界中から美しいチョウ、珍しいチョウが大集合!ー



オセアニアのトリバネアゲハ



中南米のモルフォチョウ

色どりの美しいオセアニアのトリバネアゲハ(13cm)や翅の色が変化して見える中南米原産のモルフォチョウ(10cm)などを展示します。

園 広島市森林公園(☎899-8241)

花みどり公園

シャクナゲは花みどり公園で!

ーゴールデンウィークが見頃ー

4月下旬から5月上旬にかけて花みどり公園自慢のシャクナゲが咲きます。また、ガーデニング素材のセージを温室に展示しています。

130品種4,500本の
“シャクナゲ”が
咲き誇る園内!



様々な色が楽しめる
セージの仲間

園 花みどり公園(☎837-1247)

“ひろしまそだち”を広く市民にPR!

市内の生産者団体である「広島市農業振興協議会」が広島駅南口展示スペースを活用して“ひろしまそだち”のPRを行い、市民への消費拡大を推進しています。



展示期間は平成11年10月14日～平成12年3月31日

また、毎年行われるフードフェスタ広島においても、ひろしまそだちコーナーを設けて広くPRを行っています。



会場はグリーンアリーナ

☎振興部指導課農産係(☎845-4376)

第2期研修生 実地研修へ!

“ひろしま活力農業”経営者育成事業による第2期研修生、塩井幸夫さんと西木康哲さんが頑張っています。

2人は、現在、本センターのビニールハウスでコマツナの栽培を体験しながら、作物生理・土づくり・流通などについて勉強しています。

研修2年目にあたる本年4月から安佐北区白木町の就農予定地で実際に農業経営研修に入る予定です。研修生の塩井さんは「いよいよ、現場の農地で経営の研修に入るので、気合いが入ります」と話していました。



野菜の出荷実習をする塩井さん(左上)と西木さん(右)

☎振興部指導課構造改善係(☎845-4347)

県畜産共進会「冬季枝肉の部」で入賞!

広島県畜産共進会「枝肉の部」(平成11年12月8日)広島食肉市場で開催)において、本市の長岡直幸さん(安佐北区)と太田政司さん(佐伯区)が優秀賞を受賞しました。

受賞した長岡さんは「和牛の経営を始めて2年たつが、ようやく満足できる品質の牛が育ち、今回の受賞は大きな励みになりました。今後は肉質の良い牛をできるだけ多く生産したい」と話していました。

☎振興部指導課畜産係(☎845-4378)



優秀賞を手にする長岡さん(左)と太田さん(右)

本格的な炭焼き窯が完成!

森林公園管理ボランティア(愛称フォレストクラブ森守)の皆さんが5日間(延55人役)をかけて森林公園内の林業体験広場内に、本格的な炭焼き窯をつくりました。

この窯の大きさは、直径3.6m、高さ1.3mの円筒形で一度に200kgの炭ができます。

ボランティアの山縣圭子さんは「窯づくりから炭焼きまで、一連の作業を体験できました。特に左官仕事や窯から出来た炭を出した時には物づくりの喜びを味わうことができました。今回、参加して本当に良かった」と話していました。



炭焼き窯の全景



☎森林整備部森林整備課(☎899-1005)

森林公園管理ボランティア(愛称:フォレストクラブ森守)の皆さん